

アリスセンターシンポジウム
市民社会に向けた社会実験～アリスセンターの経験をバトンタッチする1日
概要

※申込方法等詳細は、3月中旬までにご案内します

1 開催趣旨

まちづくり情報センターかながわ（アリスセンター）が設立されたのは、1988年。さらに、1999年にNPO法人化する際に掲げたミッションは、「①課題解決を市民自らが担う自治型の地域社会をめざす、②市民がまちづくりの主体となるための手法やシステムの開発、社会環境整備に関する提案を行う、③地域における市民の活動やまちづくりのための実践・政策提案を支援していく。」ということでした。

設立から35年を経て、市民を取り巻く社会の側は変化してきたが、新しい市民社会を創造し、市民の主体的活動を支援することの必要性、目的・目標、ミッションは設立当時と変わっていません。時代が異なっても、生活における問題点、解決しなければいけない課題は変わっていません。

このシンポジウムでは、アリスセンターを解散する前に、センターが設立された1980年代後半から、現在に至るまでの市民活動・NPOの変遷やアリスセンターのめざしたものの、産み出してきた市民社会の技術、発信してきたことを振り返り、伝えつつ、現在の市民活動やNPOの役割を再検討し、市民主体の社会創造への道筋を皆さんと一緒に考えます。

2 名称

市民社会に向けた社会実験～アリスセンターの経験をバトンタッチする1日

3 主催

- ・主催 特定非営利活動法人まちづくり情報センターかながわ
- ・共催 アリスセンターの経験をバトンタッチする1日実行委員会

4 日時

- ・2023年4月22日（土）10時から20時
セッション1（午前）、セッション2（午後1）、セッション3（午後2）、夜の懇談会

6 会場

- ・川崎市総合自治会館大会議室（川崎市中原区小杉町3-600 コスギサードアベニュー4階）
JR南武線武蔵小杉駅（西口）、東急東横線・目黒線武蔵小杉駅（南口）から徒歩2分
JR横須賀線武蔵小杉駅（新南改札）から徒歩10分、駐車場はなし
※Zoomで情報発信します

7 費用（資料代・会場設備負担金）

- ・一般3,000円（学生無料）、オンライン参加1,000円、懇親会1,000円

8 申込み

- ・Peatix（ピーティックス）から申し込み（詳細は後日）

9 企画内容

- (1) セッション1 なぜ私たちはNPOを求めたのか

時間 10時～正午

進行 佐野充さん（公益社団法人神奈川県地方自治研究センター理事長、アリスセンター法人化前運営委員）

基調講演 「小さき声」を集める意味～多様性と包摂性のある社会をめざして～

播磨靖夫さん（一般財団法人たんぼぼの家 理事長）

1988年のアリスセンターの発会式で、「市民法人の可能性」をテーマに記念講演をしていただいた播磨靖夫さんに、この間の社会の変化や市民社会に向けて求められることなどをお話いただきます。

出演者 認定NPO法人フリースペースたまりば 西野博之さん

認定NPO法人グループ藤 鷺尾公子さん

よこはまかわを考える会

アリスセンター初代事務局長 土屋真美子さん

◎ブレイクセッション アリスセンター事務局長3代（土屋、川崎、藤枝）のミニ対談 15分程度

(2) セッション2（ワークショップ）「市民社会の技術」

時間 13時～15時30分

進行 饗庭伸さん（東京都立大学教授、アリスセンター2代目理事長）

コメンテーター 認定NPO法人びーのびーの事務局長 原美紀さん

認定NPO法人アクト川崎 理事 竹井斎さん

(3) セッション3 私たちの社会はどこに向かうのか？～市民社会の現在とこれから

時間 16時～18時

進行：中島智人さん（産業能率大学教授、アリスセンター元理事）

出演者 調整中

(4) 夜の懇談会

時間 18時30分～20時

内容 軽食をつまみながら、参加者で懇談（会費1,000円）

10 問合せ

特定非営利活動法人まちづくり情報センターかながわ（アリスセンター）

e-mail office@alice-center.jp